

この紙のゴール：初めて読む英文から、大意と必要な情報を制限時間内につかむ / 本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

Many people believe that washing hands in hot water is cleaner than washing them in cool water. It feels right. We use hot water to clean plates, so it should clean hands too.

But bacteria are tough. To kill most of them with heat alone, water would have to be about sixty degrees. No one can hold their hands under water that hot. The water we really use is far too cool to kill anything.

What removes bacteria is not heat. It is soap and time. Soap breaks the thin layer of oil on the skin, and rubbing lifts the bacteria off, so the water can carry them away. Health groups say we should rub our hands for about twenty seconds. But one study in a supermarket found that most people stopped after about six.

Wet hands also pass bacteria on more easily than dry hands, so the last step is as important as the first.

So choose water that feels comfortable, count to twenty while you rub, and dry your hands well.

〔語注〕 bacteria＝細菌 oil＝（皮ふの）あぶら rub＝こする

設問 本文の内容に合うものを選ぼう。

(1) この文章がいちばん伝えたいことは？ **思考・判断・表現** 答え（ ） 3点

- ア 大切なのは湯の温度ではなく、せっけんと時間である
- イ 熱いお湯で洗うほうが、水で洗うより清潔である
- ウ 食器を洗うときと同じように、手も熱い湯で洗うべきである
- エ 手を洗うことよりも、手を乾かすことのほうが大切である

(2) 本文が示している数字の説明として正しいものは？ **知識・技能** 答え（ ） 3点

- ア 手洗いにすすめられている湯の温度は、約二十度である
- イ 多くの人が手をこすっていた時間は、約二十秒だった
- ウ 熱だけで菌の多くを殺すには、約六十度の湯がいる
- エ 健康の団体がすすめる時間は、約六秒とされている

(3) 本文によると、せっけんは何をしているか？ **知識・技能** 答え（ ） 3点

- ア 皮ふのうすい油の層をこわし、こする動きが菌をはがす
- イ 湯の温度を上げて、菌を熱で殺している
- ウ 皮ふに膜をつくり、菌がつかないようにしている
- エ 手についた水分をすばやく乾かす働きをしている

(4) 筆者が最後にすすめているのは？ **思考・判断・表現** 答え（ ） 3点

- ア できるだけ熱い湯を使い、短い時間で手早く洗う
- イ せっけんを使わず、流水で長い時間洗い流す
- ウ 手を洗ったあとは、ふかずに自然に乾くまで待つようにする
- エ 心地よい温度の水で、二十数えながらこすり、よく乾かす

手を洗う湯は、ぬるくていい（基礎） | 解答と出題のねらい

解答

(1)	ア	第3段落 What removes bacteria is not heat. It is soap and time. と最終段落。エの「乾かすほうが大切」は as important as the first (同じくらい) より強い。
(2)	ウ	第2段落 water would have to be about sixty degrees。二十秒は健康の団体がすすめる時間、六秒は実際に多くの人がやめてしまった時間（第3段落）。
(3)	ア	第3段落 Soap breaks the thin layer of oil on the skin, and rubbing lifts the bacteria off。
(4)	エ	最終段落 choose water that feels comfortable, count to twenty while you rub, and dry your hands well。3つとも入っているのはエだけ。

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

「熱い湯のほうが清潔」という、ほぼ全員が持っている思いこみを本文がひっくり返します。菌は殺されているのではなく、運び去られているという結論なので、(1)と(3)は感覚のままだと必ず外れます。数字が3つ（約六十度／約二十秒／約六秒）出てきて、単位まで入れかえた誤答を置いてあるので、(2)は「その数字は何の数字か」をラベルごと拾えているかを直接測れます。

設問	型	観点	テストでの使い方
(1)	大意（スキミング）	思考・判断・表現	概要把握。「乾かすほうが大切」のような、本文より強い主張を切れるか
(2)	明示情報	知識・技能	3つの数字（六十度・二十秒・六秒）を、それぞれのラベルと結びつけて読む
(3)	明示情報	知識・技能	せっけんの働き（油の膜をこわす）と、こする動きの役割の読み取り
(4)	筆者の提案	思考・判断・表現	結論段落から「読者がすること」を3つとも落とさずに選ぶ

3つの版の使い分け

同じトピック・同じ設問構造で、英文の語彙・構文と選択肢の言語だけを変えてあります（基礎=選択肢も日本語／標準=選択肢が英語／発展=設問も英語）。①クラスの帯に合わせて選ぶ ②同じクラス内で配り分ける ③基礎→標準→発展と日を空けて再挑戦—の3通りの使い方ができます。正解の記号は版ごとに違います（配り分けのときの写し合い対策にもなります）。

